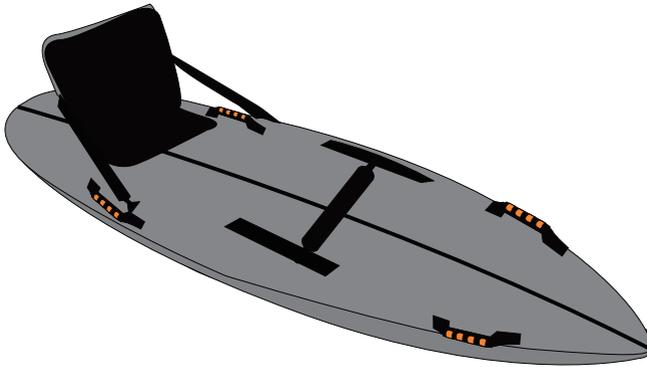


取扱説明書

型番：SK-01/ SK-02



**DOPPELGÄNGER
OUT DOOR®**



このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、安全に正しくご使用
ください。また、お読みいただいた後もこの説明書は大切に保管し、必要なときにお読
みください。

本製品に関する最新の情報、サポート情報等は、下記ホームページでご確認いただけ
ますので、定期的にご覧ください。

<http://www.doppelganger-sports.jp/outdoor/>

※改良のため予告無く製品の仕様・デザイン等を変更する場合があります。

■製品仕様	
カヤック本体	■乗船可能人数：1名 ■最大乗船可能重量：100 kg ■材 質：PVC 0.7 mm（カバー：ポリエステル） ■本体気室数：1 気室 ■全長：（約）2700 mm ■製品重量：（約）8.0kg
パドル	■材質：アルミニウム /PP ■長さ：（約）2200 mm

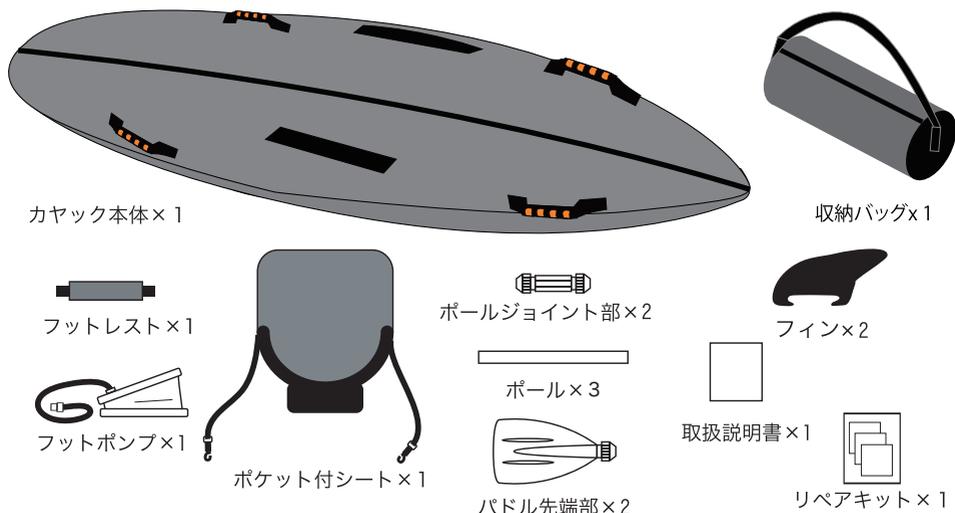
※当説明書内容の無断転用を禁止します。

Copyright © 2010 BE-S CO.,LTD. All rights reserved.

ご使用の前に

1. 梱包内容をご確認ください。万一内容に不足・不具合があった場合は、商品到着後一週間以内に巻末の連絡先へご連絡ください。一週間を過ぎてからのお申し出の場合は、実費を請求させていただく場合がございます。

梱包内容…カヤック本体×1、フットレスト×1、フットポンプ×1、リペアキット×1、ポケット付シート×1、ポールジョイント部×2、ポール×3、パドル先端部×2、フィン×2、収納バッグ×1、取扱説明書（本書）×1



2. 本製品を使用する前日に、付属のフットポンプで本製品に空気を注入してそのまま1日放置し、空気漏れがないか確認してください。
※空気漏れの確認は使用する都度行ってください。

ご使用上の注意 ※必ずお読みください

- 本製品は救命具ではありません。沖合や岩場など危険なところでの使用は避け、遊泳場等の安全な所でご使用ください。
- 風の強いときは使用しないでください。風や波に流され危険です。
- カヤック内での移動や立ち座りは慎重に行ってください。バランスをくずし転覆するおそれがあります。
- 本製品の乗船定員は1名です。1名以上で使用しないでください。
- 荷物などを乗せないでください。

- 貴重品、携帯電話、カメラなどを持ち込まないでください。水濡れ、水没などの可能性があります。メガネ、サングラスなどは落下防止ストラップを使用し、充分にご注意ください。
※水濡れ、水没などによる破損、紛失に関してはいかなる理由とも補償の対象外となります。
- パドルのしぶきや、波をかぶる場合もございます。濡れても問題ない服装でご利用ください。
- 本製品はおもちゃではありません。子供だけで使用しないでください。
- 泳げない方は使用しないでください。
- アルコールや薬などを飲んだ場合や体調の悪い方、けがをされている方は使用しないでください。
- 空気の入れすぎは破損の原因になります。外周部にシワが少し残るくらいが適量です。
- 炎天下に置くと空気の膨張により気室内圧が上昇し、また本体が柔らかくなる場合がございます。本体の圧力状態には十分ご注意ください。
- 空気注入の際は必ず付属のポンプを使用してください。本体の各空気室を手で触れて、入り具合を確かめながら注入してください。
- 本体の空気注入口は栓と弁の二重構造になっていますが、弁は空気の急激な漏れを防ぐ補助弁で、空気を完全に止めるものではありません。必ず栓をしっかり差し込んでご使用ください。
- パドルの組み立てはジョイント部に奥までしっかり差し込み、各部のネジをしっかり締め、完全に固定してください。ゆるんだままのご使用は破損の原因となります。
- パドルは本製品の操縦以外の目的で使用しないでください。
- 安全のため、ライフベスト等救命具を着用の上でご使用ください。
- いずれかの部品が破損した場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。

禁止事項

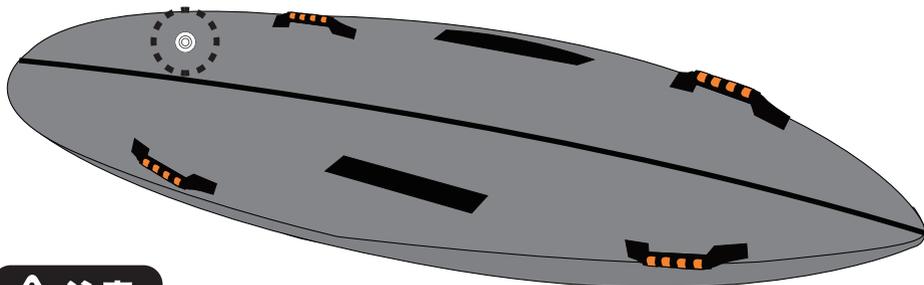
- 釘やくい、砂利、貝殻、ガラス片、金属片、木片、等とがったものとの接触。
- たばこや火気に近づける事。
- 雨、強風、等悪天候の場合や夜間の使用。
- 急流での川下り、岩場、座礁する危険性のある場所、釣り、寒冷地、波の高い場所等での使用。
- 高圧ポンプや、自動車の排気ガスの使用。
- 口での空気注入。

組み立て方法

付属のフットポンプを使用し、カヤック本体に空気を注入します。空気注入口はカヤック上面の気室に1カ所あります(3ページ上図：破線で囲んだ部分)。

本製品の空気注入口には、中央のボタンを押すと弁が解放され排気し、再度押すと弁が閉じる構造の「フラットバルブ」を採用しています。空気注入時は弁を閉じた状態で、フットポンプに付属のアタッチメントを装着し、フラットバルブにねじ込み、固定して空気を注入してください。

空気注入後は空気の漏れがないことを確認した後、ねじ込み式のキャップをしっかりとめ込んでください。※バルブとカバーがずれた場合は、船首、船尾付近の2箇所のジッパーを開け、前後から気室（チューブ）を交互に引っ張りながら少しずつ修正してください。



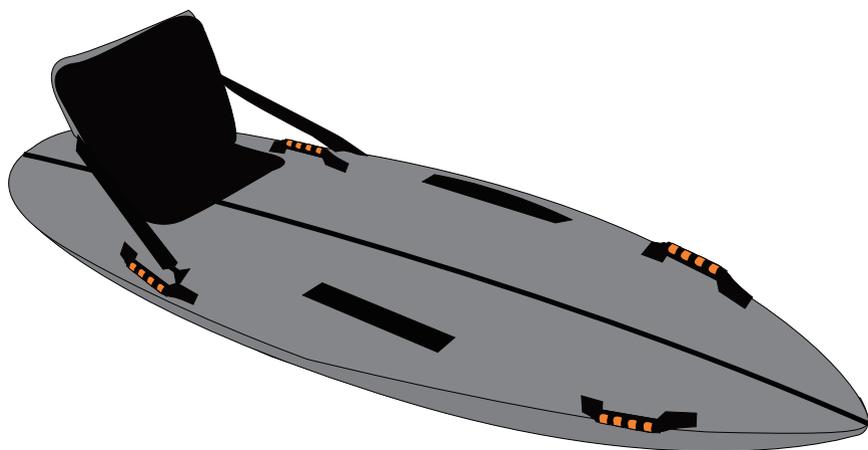
⚠ 注意

※フラットバルブとカヤックとの間にゆるみがあったり、異物が挟まると隙間が発生し、空気漏れの原因となります。

※空気の入れすぎにご注意ください。手で押して少し余裕があるくらいが最適です。空気を入れすぎると、直射日光を受けたときや急激に気温が上昇したときに、空気の膨張によりカヤック気室内の圧力が高まり、破裂などの事故を招く可能性があります。

2 シートをカヤックに取り付けます。下図を参考に、シートに取り付けられている2本のフック付ベルトを、カヤックのリングへ取り付けてください。ベルトの長さは、バックルにより調整可能です。

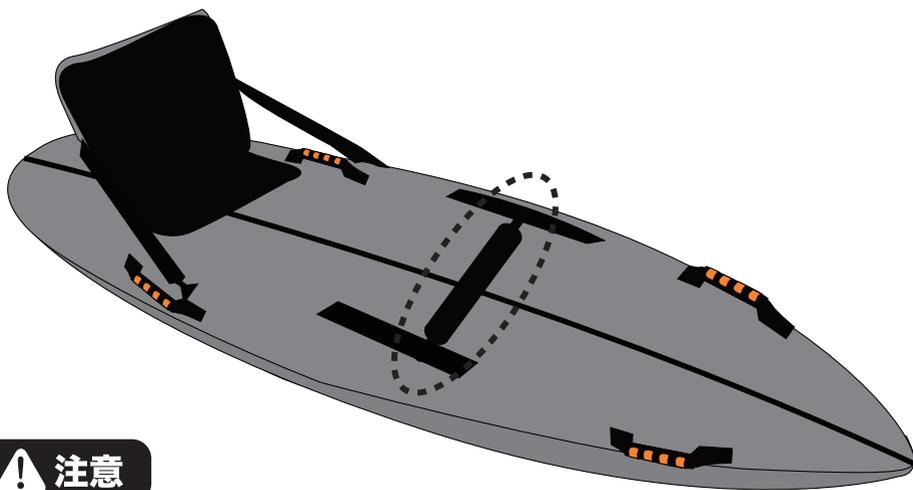
※シートは、座ったときに進行方向を向くように取り付けてください。



後←

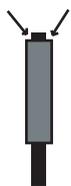
→進行方向

3 フットレストを取り付けます。フットレストはカヤック底面に取り付けられたループへ、片側ずつ差し込むようにして取り付けます。フットレストの取り付け位置は3段階に調整できるので、シートに座り、膝が伸びきってしまわない（座ったときにある程度膝が曲がった状態になるよう）位置へ取り付けてください。



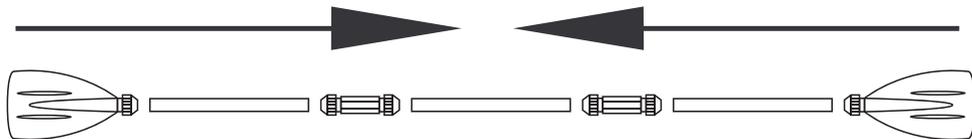
⚠ 注意

乗船時に膝が伸びきった状態になるようフットレストを取り付けると、パドル操作時に踏ん張りがきかないことがあります。



※フットレストはリジッドバーと硬質スポンジで構成されています。スポンジとリジッドバーは接着されておりません。スポンジがずれた場合は、ずれている側から強く押しいただき、スポンジを動かしてください。スポンジが膨らんだ場合は、端に向かって少しずつ押すとリジッドバーになじみます。

4 下図を参考に、それぞれ2本のパドルを組み立てます。ポールはジョイント部、パドル先端部奥までしっかりと差し込んでください。ポールを差し込んだ後は、ジョイント部のねじを時計回りに回し、しっかりと固定してください。



⚠ 注意

ポールの差し込みが浅いと、使用した際に水の抵抗によりジョイントが外れたり破損することがあり、大変危険です。

5 カヤックを裏向きにし、前後フィンを取り付けます（下図参照）。

①まず、フィンの後端部の鉤状になった部分を、カヤックのフィン取り付け台（後）へはめ込みます。

②次に、フィンを前方向へずらし、フィン取り付け台内部の窪みとフィン後端の鉤状部分とが噛み合ったことを確認した後、下方向へフィンを押し下げます。

③さらにフィンを押し下げ、フィン取り付け台（前）内部の窪みとフィン先端の鉤状部分とが噛み合ったことを確認します。

フィンを取り付けた後は、フィンを前後左右に動かし、フィンがきちんと固定されているかどうか確認してください。



これで完成です。「ご使用上の注意」「禁止事項」をよくお読みの上、安全にお楽しみください。

■フットポンプご使用上のご注意

- ・ポンプ付属のノズルの内、空気注入口の形状に合った正しいサイズのものをお使いください。
- ・ゆっくり足を踏み下ろしてください。過度に強い力や、蹴るように瞬間的に力が加わるような操作をすると、フットポンプが破損する可能性があります。
- ・使用中、保管中にかかわらず、直射日光や火気等で高温になることを避けてください。
- ・ポンプを分解、改造しないでください。

■リペアキット取り扱い上のご注意

- ・幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・本製品の接着用途以外に使用しないでください。
- ・ご使用の際は換気をよくし、火気には十分ご注意ください。
- ・長時間においをかぐと健康を害するおそれがあります。使用中、使用後は十分に換気を行ってください。

■リペアキットの使用方法

①リペアキットには、「パッチ」「接着剤」が含まれます。パッチは、修理する箇所に合わせて、適当な大きさに切ってご使用ください。

②修理する箇所周辺の水分、油汚れ、ホコリ等を落とします。このとき、表面に予めサンドペーパーをかけておくと接着剤の乗りが良くなります。

※サンドペーパーで強く生地を擦ると、生地の破損や強度低下の原因となりますのでご注意ください。

※表面に油脂等が付着したままだと接着力が非常に弱くなります。生地表面に油脂が付着している場合は中性洗剤で表面を洗浄するなどして脱脂を行ってください。

③生地・パッチ両側に接着剤を塗布します。接着剤は補修する面に対し、薄く均一に塗ってください。

接着剤を塗布した後、接着剤が乾燥するまで待ちます。表面に粘りが感じられるまで乾燥した後、生地とパッチを貼りあわせませす。このとき、生地とパッチの間に異物を挟まないよう、またしわにならないように注意してください。

④生地とパッチを貼りあわせた後、両側から強く圧着します。生地とパッチとの間に隙間があると空気漏れの原因となりますので、確実に圧着を行ってください。

■保管上の注意

ご使用後は空気を完全に抜き、真水で汚れを落とし、陰干しして湿気の少ない場所に保管してください。また、本製品に対してベンジン・シンナー等揮発性のものを使用したり、高温になる場所で保管もおやめください。

■廃棄上の注意

廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。